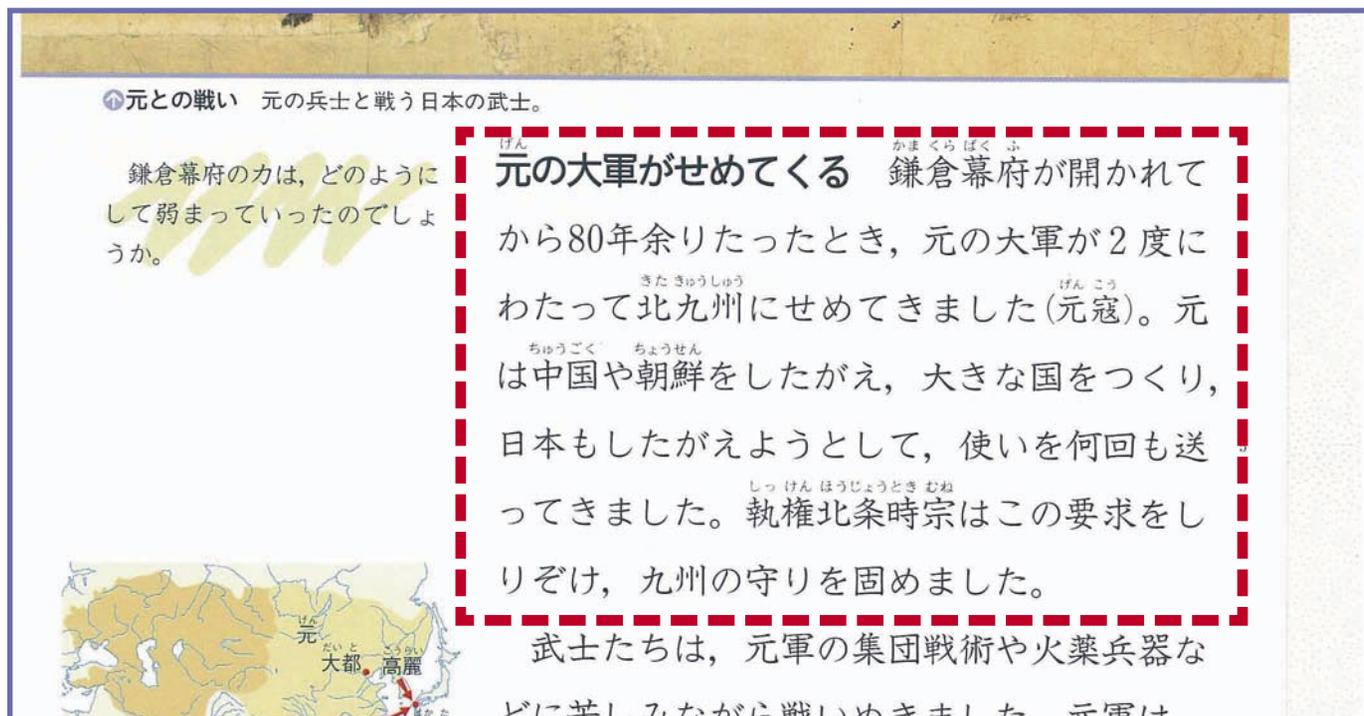


20) - 1. ルビの長いものについて、漢字のマス間をルビの長さに合わせて大きく空けると見にくいので、多少空けるにとどめる。

20) - 2. ルビのある行の行間は広めにとり、原則としてルビのない行の行間も同じ広さにする。ただし、その設定は段落ごとにする。



新しい社会 6 上 (東京書籍) P.38

1. 原本では、ルビの長さ、それに対応する文字(単語)の長さがそろっていますが、拡大本では、「北九州」のように、ルビのつく文字(単語)よりも長いルビがつくものについても、各文字間は、少し空けるにとどめています。

2. 赤枠内の段落の行すべてについて、ルビのついている行と同じ広さにしています。

